

職場適応援助者（ジョブコーチ）の現状と課題に関するアンケート
訪問型ジョブコーチ調査票

あなた自身のことについてお答えください。

問1 性別（1つ選択）

男性 女性 その他

問2 年代（1つ選択）

20代 30代 40代
50代 60代 70代以上

問3 ジョブコーチ養成研修を受講した研修機関名（1つ選択）

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下「JEED」といいます）
特定非営利活動法人 ジョブコーチ・ネットワーク
特定非営利活動法人 大阪障害者雇用支援ネットワーク
特定非営利活動法人 ぐらしえん・しごとえん
特定非営利活動法人 全国就業支援ネットワーク
特定非営利活動法人 なよろ地方職親会
社会福祉法人 南高愛隣会

問4 ジョブコーチ養成研修を受講した時期（1つ選択）

平成 29(2017)年度 平成 30(2018)年度 令和元（2019）年度

問5 受講した養成研修の種類（1つ選択）

訪問型ジョブコーチ養成研修 企業在籍型ジョブコーチ養成研修

問6 所属機関についてお伺いします。所属機関の法人の形態について、あてはまるもの1つを選択してください。

社会福祉法人
株式会社
その他

特定非営利活動法人
公的機関

医療法人

--	--

問7 所属機関は、訪問型ジョブコーチを行ったことに対する助成金()の支給を受けている法人ですか。あてはまるもの1つを選択してください。

障害者雇用安定助成金(障害者職場適応援助コース)

支給を受けている法人である
支給を受けたことはない
わからない

過去は支給を受けていたが、現在は違う
法人が支給対象になりえない(公的機関等)

問8 所属機関が実施している事業について、法人全体、勤務している事業所、あなたが従事している事業それぞれについてあてはまるもの全てを選択してください。(それぞれ複数選択可)

	法人全体	勤務している事業所	従事している事業
ケアホーム・グループホーム・福祉ホーム			
生活介護、自立訓練			
相談支援事業			
地域活動支援センター			
就労継続支援B型			
就労移行支援事業			
就労定着支援事業			
就労継続支援A型			
障害者委託訓練			
障害者就業・生活支援センター			
自治体単独設置の就労支援センター			
病院・クリニック			
教育機関			
その他			

(問8にて「その他」にチェックを入れた方は下記欄にその具体的な内容を入力願います。)

--

問9 あなたが従事している事業（複数ある場合は、主たるもの）の利用者の障害種別について、欄からあてはまるもの全てを選択し、そのうち最も多い障害種別を欄から1つを選択してください。

	利用者の 障害種別	最も多い 障害種別
身体障害		
知的障害		
精神障害（発達障害を除く）		
発達障害		
高次脳機能障害		
その他		

問10 現在、あなた自身が担当している業務についてうかがいます。
次の項目について、あてはまるもの全てを選択してください。（複数選択可）

- 障害者の就労に向けた相談支援
- 障害者の就労に向けた施設内での訓練（移行支援・B型等）
- 障害者の就労に向けた施設外就労の支援（移行支援・B型等）
- 障害者の職場実習支援
- 障害者の求職活動支援
- 訪問型ジョブコーチ支援（助成金を活用したもの）
- 訪問型ジョブコーチ支援に類する業務（助成金を活用しないもの）
- その他障害者の職場定着支援
- 障害者の生活支援・自立訓練
- 医療機関におけるリハビリテーション（作業療法、デイケア等）
- 法人の管理業務
- その他

問11 あなた自身の就労支援等の業務経験についてうかがいます。
次の ~ の業務経験について、それぞれ1つ選択してください。
現在所属する法人だけでなく、他法人等でこれまで経験したものすべてを含みます。

	経験なし	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
障害者の就労前・就職後の支援に関する業務経験						
のうち訪問型ジョブコーチ支援に関する業務経験						
一般企業での業務経験						
のうち障害者雇用に関する業務経験（前職含む）						

ジョブコーチ支援等の業務について

問 1 2 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務を行う際に、ジョブコーチ養成研修修了者として周囲からどのようなことを期待されていますか。次の ~ () について、それぞれ1つ選択してください。

~ に該当しない場合に を選択してください。

	期待されている	やや期待されている	あまり期待されていない	期待されていない	わからない・行う機会がない
障害者本人のアセスメント					
職場環境のアセスメント					
支援計画の作成					
作業工程の把握・分析					
障害特性に応じた障害者に対する支援					
障害や職場に応じた支援ツールの作成					
新たな仕事の切り出しや職務の再構成					
事業所内調整・事業所支援					
人間関係、職場内コミュニケーションに関する相談・支援					
体調・服薬管理の支援					
家族との相談・調整					
関係機関との連絡調整					
その他					

(問 1 2 にて「その他」にチェックを入れた方は下記欄にその具体的な内容を入力願います。)

--

問13 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務について、どのくらいその業務を行う機会がありますか。次の～（ ）について、それぞれ1つ選択してください。
 ～に該当しない場合に を選択してください。

	よく行っている	たまに行っている	あまり行わない	全く行わない
障害者本人のアセスメント				
職場環境のアセスメント				
支援計画の作成				
作業工程の把握・分析				
障害特性に応じた障害者に対する支援				
障害や職場に応じた支援ツールの作成				
新たな仕事の切り出しや職務の再構成				
事業所内調整・事業所支援				
人間関係、職場内コミュニケーションに関する相談・支援				
体調・服薬管理の支援				
家族との相談・調整				
関係機関との連絡調整				
その他				

(問13にて「その他」にチェックを入れた方は下記欄にその具体的な内容を入力願います。)

--

問14 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務を行う際に、スキル不足を感じることがありますか。次の～（ ）について、それぞれ1つ選択してください。
～に該当しない場合に を選択してください。

	よくある	たまにある	あまりない	全くない	行う機会がない
障害者本人のアセスメント					
職場環境のアセスメント					
支援計画の作成					
作業工程の把握・分析					
障害特性に応じた障害者に対する支援					
障害や職場に応じた支援ツールの作成					
新たな仕事の切り出しや職務の再構成					
事業所内調整・事業所支援					
人間関係、職場内コミュニケーションに関する相談・支援					
体調・服薬管理の支援					
家族との相談・調整					
関係機関との連絡調整					
その他					

(問14にて「その他」にチェックを入れた方は下記欄にその具体的な内容を入力願います。)

問15 ジョブコーチ以外に障害者の支援に関する資格をお持ちですか。
次の項目について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

特になし	社会福祉士	精神保健福祉士
作業療法士	臨床心理士・臨床発達心理士	公認心理師
産業カウンセラー	キャリアコンサルタント	障害者職業生活相談員
その他		

問16 助成金を活用したジョブコーチとしての活動経験の有無(1つ選択)

現在活動中
 以前は活動していたが、現在は活動していない
 活動したことがないが、今後機会があれば活動したい
 活動したことがなく、今後も活動する見込みがない
 その他

【問16で「現在活動中」「以前は活動していたが、現在は活動していない」と回答した方】

問17 助成金を活用したジョブコーチとしての活動状況についておうかがいします。

(1) ジョブコーチと他の業務との業務割合について、あてはまるもの1つを選択してください。

ジョブコーチ専任

兼任(ジョブコーチ業務の割合は8割以上)

兼任(ジョブコーチ業務の割合は6～7割)

兼任(ジョブコーチ業務の割合は3～5割)

兼任(ジョブコーチ業務の割合は1～2割)

兼任(ジョブコーチ業務はほとんどない)

(2) ジョブコーチとして活動した時期について、あてはまるもの全てを選択してください。
(複数選択可)

平成29年度
令和2年度

平成30年度

令和元年度

(3) これまでジョブコーチ支援を行った対象者数について、あてはまるもの1つを選択してください。

1人

2人

3人

4人

5～9人

10人以上

(4) これまでジョブコーチ支援を行った対象者の障害種別について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

身体障害
発達障害

知的障害
高次脳機能障害

精神障害(発達障害を除く)
その他

(5) 1ヶ月のうち、ジョブコーチとしての平均的な活動日数について、あてはまるもの1つを選択してください。

月1日

月2、3日

月4、5日

月6～9日

月10～14日

月15日以上

【問16で「活動したことがないが、今後機会があれば活動したい」「活動したことがなく、今後も活動する見込みがない」と回答した方】

問17 助成金を活用したジョブコーチ支援を行っていない理由について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

支援対象者がいない

法人が助成金支給対象の法人になりえない(公的機関等)

助成金支給対象のジョブコーチではないため

就労移行支援事業の就労支援関係研修加算や就労定着支援事業の配置体制加算が目的であったため

元々助成金を活用したジョブコーチの活動をすることを考えていなかったため

ジョブコーチ以外の業務が忙しく、ジョブコーチとしての支援ができない

障害者の就労支援業務に携わっていない

異動、転職、退職

助成金の手続きが煩雑

助成額が業務量に見合わない

その他

ジョブコーチ養成研修について

問18 ジョブコーチ養成研修を受講した動機について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- ジョブコーチ(助成金を活用したもの)として活動するため
- ジョブコーチ(助成金を活用しないもの)として活動するため
- 就職に向けた支援を行うため
- 職場定着に係る支援を行うため
- 就労移行支援事業の就労支援関係研修加算になるため
- 就労定着支援事業の配置体制加算になるため
- 障害者雇用安定助成金(障害者職場定着支援コース)の職場支援員になるため
- 上司の指示
- 人脈を広げるため
- 資格に準ずるものがほしかったため
- その他

問19 ジョブコーチ養成研修で学んだことは、あなたの業務に役立っていますか。もっとも近いもの1つを選択してください。(1つ選択)

- 非常に役立っている
- 役立っている
- あまり役立っていない
- 役立っていない
- ジョブコーチ支援や障害者の就労支援、雇用管理等の業務を行っていない

【問19で「非常に役立っている」「役立っている」と回答した方】

問20 ジョブコーチ養成研修が「非常に役立っている」「役立っている」と回答した方におうかがいします。研修が役立っていると思う理由について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- 有用な知識を得られた
- 実習・演習が実際の支援に役立っている
- 支援事例が参考になった
- 障害者の就労支援や雇用管理に関して新たな発見等があった
- 経験や知識を整理できた
- 障害者の就労支援や雇用管理に対するやる気がわいた
- 就労支援者や障害者雇用担当者としての肩書きを持てた
- 人脈が広がった
- その他

(問20にて「有用な知識を得られた」にチェックを入れた方は具体的な内容を教えてください。(複数選択可))

- 法律や制度
- 企業の雇用管理等
- 障害者福祉
- 障害者の就労支援や雇用管理に関する幅広い知識

【問19で「あまり役立っていない」「役立っていない」と回答した方】

問20 ジョブコーチ養成研修が「あまり役立っていない」「役立っていない」と回答した方におうかがいします。研修が役立っていないと思う理由について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- 研修で学んだことを活用する機会がない
- 研修内容が実践的でない
- 知っていることばかりで、新たなスキル・知識の習得ができなかった
- 研修内容が難しく、あまり習得できなかった
- その他

問2 1 ジョブコーチ養成研修の各科目で学んだことは、あなたの業務に役立っていますか。次の ~ について、それぞれ1つ選択してください。

研修受講時の科目名が、設問の科目名と異なる場合がありますので、この場合は、受講内容が最も近い科目名について回答してください。

科目名	非常に役立っている	役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	活用する機会がない・わからない
職業リハビリテーションの理念					
就労支援のプロセス					
ジョブコーチの役割					
障害特性と職業的課題					
就労支援に関する制度					
職場における雇用管理					
企業文化の理解					
アセスメントと支援計画に関する理解					
企業へのアプローチと事業所における調整方法					
事業所での支援方法の基礎理解					
職務分析と作業指導					
支援記録の作成					
地域における関係機関の役割					
ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援					
ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際（事例検討）					
事業所実習					

補足(科目名とその内容)	
科目名	内容
職業リハビリテーションの理念	・職業リハビリテーションの基本理念
就労支援のプロセス	・就労支援のプロセス
ジョブコーチの役割	・ジョブコーチの制度と役割 ・ジョブコーチの支援の流れ、等
障害特性と職業的課題	・障害特性と職業的課題 ・障害特性に応じた支援方法、等
就労支援に関する制度	・障害者雇用施策の概要
職場における雇用管理	・事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ・就労支援における企業のニーズ
企業文化の理解	・企業経営の基礎 ・企業の視点や企業文化の理解
アセスメントと支援計画に関する理解	・アセスメントの視点と方法 ・支援計画、フォローアップ計画の意味、内容と活用方法、等
企業へのアプローチと事業所における調整方法	・企業へのアプローチ方法 ・事業所への働きかけと調整方法
事業所での支援方法の基礎理解	・具体的な支援の流れと方法 ・職域開拓と職務の再構成、等
職務分析と作業指導	・職務分析、工程分析 ・わかりやすい伝え方、等
支援記録の作成	・支援記録の作成方法と活用方法
地域における関係機関の役割とネットワークの活用	・雇用、福祉、教育等の関係機関の役割、連携のあり方
ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	・ケアマネジメントの理念 ・職業生活を支える支援、家族への支援の考え方と方法、等
ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際(事例検討)	・ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支援の方法を学ぶ
事業所実習	・事業所実習

問2 2 より効果的な研修にするために、見直した方が良いと思う科目があれば、その科目番号()と理由をお書きください。(自由記述)
(問2 1の科目番号から選択してください。)

--

問2 3 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務のスキルアップのために、以下を受講又は参加したことがありますか。あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- ジョブコーチ推進協議会 (JEED:地域障害者職業センター)
- ジョブコーチ養成研修修了者サポート研修(JEED:地域障害者職業センター)
- ジョブコーチ支援スキル向上研修(JEED:障害者職業総合センター)
- ジョブコーチ支援スキル向上研修修了者サポート研修(JEED:地域障害者職業センター)
- 大臣指定の養成研修機関主催のジョブコーチ養成研修のフォローアップ研修
- 就業支援基礎研修(JEED:地域障害者職業センター)
- 就業支援実践研修(JEED:地域障害者職業センター)
- 就業支援スキル向上研修 (JEED:障害者職業総合センター)
- 就業支援課題別セミナー (JEED:障害者職業総合センター)
- 自法人主催の社員・職員向け研修・セミナー
- その他

--

問2 4 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務のスキルアップのために、最も有効と考える活動は何ですか。あてはまるもの1つを選択してください。

- 更なるレベルの研修受講
- 支援機関からの助言
- 経験豊富なジョブコーチ等との協同支援
- 実務経験を積むこと
- その他

--

問2 5 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務のスキルアップのために、今後受講したい研修科目について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- アセスメントの技法と支援計画の策定
- 職務の再構成と作業改善
- 事業所内調整・事業所支援
- 特定の障害種別のジョブコーチ支援の方法
- 障害特性と職業上の課題、配慮事項を整理するツール(ナビゲーションブック、就労パスポート等)
- ジョブコーチ支援に活用できる技法(ストレス対処、問題解決技法等)
- コーチングスキル
- ケーススタディ
- その他
- 特になし

--

(問25にて「特定の障害種別のジョブコーチ支援の方法」にチェックを入れた方は具体的な障害種別を教えてください。(複数回答可))

視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害
知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害
その他			

制度に関する意見(自由記述)

問26 ジョブコーチ養成研修に関するご意見があればお書きください(自由記述)

(テーマの例:研修の頻度、開催場所、研修日数・時間数、研修方法(講義、演習等)、研修のレベル、カリキュラム、受講人数、受講要件、申込み手続き 等)

問27 助成金に関するご意見があればお書きください(自由記述)

(テーマの例:認定法人の要件、ジョブコーチの要件、助成額、助成対象となる活動、支援計画・支援記録、事務手続き 等)

問28 その他ジョブコーチ支援制度全体に関する意見があればお書きください(自由記述)

職場適応援助者（ジョブコーチ）の現状と課題に関するアンケート
企業在籍型ジョブコーチ調査票

あなた自身のことについてお答えください。

問1 性別（1つ選択）

男性 女性 その他

問2 年代（1つ選択）

20代 30代 40代
50代 60代 70代以上

問3 ジョブコーチ養成研修を受講した研修機関名（1つ選択）

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下「JEED」といいます）
特定非営利活動法人 ジョブコーチ・ネットワーク
特定非営利活動法人 大阪障害者雇用支援ネットワーク
特定非営利活動法人 ぐらしえん・しごとえん
特定非営利活動法人 全国就業支援ネットワーク
特定非営利活動法人 なよろ地方職親会
社会福祉法人 南高愛隣会

問4 ジョブコーチ養成研修を受講した時期（1つ選択）

平成 29(2017)年度 平成 30(2018)年度 令和元（2019）年度

問5 受講した養成研修の種類（1つ選択）

訪問型ジョブコーチ養成研修 企業在籍型ジョブコーチ養成研修

問6 所属企業についてお伺いします。所属企業の業種について、あてはまるもの1つを選択してください。

- | | | |
|-------------------|------------|----------------|
| 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 情報通信業 | 運輸業、郵便業 | 卸売・小売業 |
| 金融業、保険業 | 不動産業、物品賃貸業 | 学術研究、専門技術サービス業 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | | 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 教育、学習支援業 | 医療、福祉 | 複合サービス業 |
| サービス業（他に分類されないもの） | | その他 |

問7 お勤めの企業グループに特例子会社はありますか。また勤務されている事業所は特例子会社ですか。あてはまるもの1つを選択してください。

- 特例子会社があり、特例子会社に勤務している。
 特例子会社があり、特例子会社以外に勤務している。
 特例子会社はない

問8 所属企業は、企業在籍型ジョブコーチを行ったことに対する助成金（ ）の支給を受けている法人ですか。あてはまるもの1つを選択してください。

障害者雇用安定助成金（障害者職場適応援助コース）

- | | |
|---------------|----------------------|
| 支給を受けている法人である | 支給を受けていたが、現在は違う |
| 支給を受けたことがない | 法人が支給対象になりえない（公的機関等） |
| わからない | |

問9 あなたが従事している事業（複数ある場合は、主たるもの）の雇用している障害者の障害種別について、欄からあてはまるもの全てを選択し、そのうち最も多い障害種別を欄から1つを選択してください。

	雇用している障害者の障害種別	最も多い障害種別
身体障害		
知的障害		
精神障害（発達障害を除く）		
発達障害		
高次脳機能障害		
その他		

問10 現在、あなた自身が担当している業務についてうかがいます。
 次の項目について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- 障害者の採用に関する業務
- 障害者の雇用管理に関する業務
- 障害者への仕事の指示・業務管理
- 企業在籍型ジョブコーチ支援(助成金を活用したもの)
- 企業在籍型ジョブコーチ支援に類する業務(助成金を活用しないもの)
- 障害者職業生活相談員業務
- 管理職業務
- 上記以外の生産・事務・販売などの実務
- その他

問11 あなた自身の障害者の雇用管理等の経験についてうかがいます。
 次の ~ の現時点での業務経験について、それぞれ1つ選択してください。
 現在所属する法人だけでなく、他法人等でこれまで経験したものすべてを含みます。

	経験なし	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
一般企業での業務経験						
のうち障害者雇用に関する業務経験						
のうち企業在籍型ジョブコーチ支援に関する業務経験						
障害者の就労支援(障害者福祉施設等)の業務経験						

ジョブコーチ支援等の業務について

問 1 2 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務を行う際に、ジョブコーチ養成研修修了者として周囲からどのようなことを期待されていますか。次の ~ () について、それぞれ1つ選択してください。

~ に該当しない場合に を選択してください。

	期待されている	やや期待されている	あまり期待されていない	期待されていない	わからない・行う機会がない
障害者本人のアセスメント					
職場環境のアセスメント					
支援計画の作成					
作業工程の把握・分析					
障害特性に応じた障害者に対する支援					
障害や職場に応じた支援ツールの作成					
新たな仕事の切り出しや職務の再構成					
事業所内調整・事業所支援					
人間関係、職場内コミュニケーションに関する相談・支援					
体調・服薬管理の支援					
家族との相談・調整					
関係機関との連絡調整					
その他					

(問 1 2 にて「その他」にチェックを入れた方は下記欄にその具体的な内容を入力願います。)

--

問13 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務について、どのくらいその業務を行う機会がありますか。次の ~ () について、それぞれ1つ選択してください。
 ~ に該当しない場合に を選択してください。

	よく行っている	たまに行っている	あまり行わない	全く行わない
障害者本人のアセスメント				
職場環境のアセスメント				
支援計画の作成				
作業工程の把握・分析				
障害特性に応じた障害者に対する支援				
障害や職場に応じた支援ツールの作成				
新たな仕事の切り出しや職務の再構成				
事業内調整・事業所支援				
人間関係、職場内コミュニケーションに関する相談・支援				
体調・服薬管理の支援				
家族との相談・調整				
関係機関との連絡調整				
その他				

(問13にて「その他」にチェックを入れた方は下記欄にその具体的な内容を入力願います。)

--

問14 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務を行う際に、スキル不足を感じることがありますか。次の～（ ）について、それぞれ1つ選択してください。
～に該当しない場合に を選択してください。

	よくある	たまにある	あまりない	全くない	行う機会がない
障害者本人のアセスメント					
職場環境のアセスメント					
支援計画の作成					
作業工程の把握・分析					
障害特性に応じた障害者に対する支援					
障害や職場に応じた支援ツールの作成					
新たな仕事の切り出しや職務の再構成					
事業内調整・事業所支援					
人間関係、職場内コミュニケーションに関する相談・支援					
体調・服薬管理の支援					
家族との相談・調整					
関係機関との連絡調整					
その他					

(問14にて「その他」にチェックを入れた方は下記欄にその具体的な内容を入力願います。)

問15 ジョブコーチ以外に障害者の支援に関する資格をお持ちですか。
次の項目について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

特になし	社会福祉士	精神保健福祉士
作業療法士	臨床心理士・臨床発達心理士	公認心理師
産業カウンセラー	キャリアコンサルタント	障害者職業生活相談員
その他		

問16 助成金を活用したジョブコーチとしての活動経験の有無(1つ選択)

現在活動中
 以前は活動していたが、現在は活動していない
 活動したことがないが、今後機会があれば活動したい
 活動したことがなく、今後も活動する見込みがない
 その他

【問16で「現在活動中」「以前は活動していたが、現在は活動していない」と回答した方】

問17 助成金を活用したジョブコーチとしての活動状況についておうかがいします。

(1) ジョブコーチと他の業務との業務割合について、あてはまるもの1つを選択してください。

ジョブコーチ専任

兼任(ジョブコーチ業務の割合は8割以上)

兼任(ジョブコーチ業務の割合は6~7割)

兼任(ジョブコーチ業務の割合は3~5割)

兼任(ジョブコーチ業務の割合は1~2割)

兼任(ジョブコーチ業務はほとんどない)

(2) ジョブコーチとして活動した時期について、あてはまるもの全てを選択してください。
(複数選択可)

平成29年度
令和2年度

平成30年度

令和元年度

(3) これまでジョブコーチ支援を行った対象者数について、あてはまるもの1つを選択してください。

1人

2人

3人

4人

5~9人

10人以上

(4) これまでジョブコーチ支援を行った対象者の障害種別について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

身体障害
発達障害

知的障害
高次脳機能障害

精神障害(発達障害を除く)
その他

(5) 1ヶ月のうち、ジョブコーチとしての平均的な活動日数について、あてはまるもの1つを選択してください。

月1日

月2、3日

月4、5日

月6~9日

月10~14日

月15日以上

【問16で「活動したことがないが、今後機会があれば活動したい」「活動したことがなく、今後も活動する見込みがない」と回答した方】

問17 助成金を活用したジョブコーチ支援を行っていない理由について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

支援対象者がいない

法人が助成金支給対象の法人になりえない(公的機関等)

助成金支給対象のジョブコーチではないため

元々助成金を活用したジョブコーチの活動をすることを考えていなかったため

ジョブコーチ以外の業務が忙しく、ジョブコーチとしての支援ができない

障害者の雇用管理・定着支援業務に携わっていない

異動、転職、退職

助成金の手続きが煩雑

助成額が業務量に見合わない

その他

ジョブコーチ養成研修について

問18 ジョブコーチ養成研修を受講した動機について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- ジョブコーチ(助成金を活用したもの)として活動するため
- ジョブコーチ(助成金を活用しないもの)として活動するため
- 障害者の雇用管理を行うため
- 障害者職業生活相談員として活動するため
- 障害者雇用安定助成金(障害者職場定着支援コース)の職場支援員になるため
- 上司の指示
- 人脈を広げるため
- 資格に準ずるものがほしかったため
- その他

問19 ジョブコーチ養成研修で学んだことは、あなたの業務に役立っていますか。もっとも近いもの1つを選択してください。(1つ選択)

- 非常に役立っている
- 役立っている
- あまり役立っていない
- 役立っていない
- ジョブコーチ支援や障害者の就労支援、雇用管理等の業務を行っていない

【問19で「非常に役立っている」「役立っている」と回答した方】

問20 ジョブコーチ養成研修が「非常に役立っている」「役立っている」と回答した方におうかがいします。研修が役立っていると思う理由について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- 有用な知識を得られた
- 実習・演習が実際の支援に役立っている
- 支援事例が参考になった
- 障害者の就労支援や雇用管理に関して新たな発見等があった
- 経験や知識を整理できた
- 障害者の就労支援や雇用管理に対するやる気がわいた
- 就労支援者や障害者雇用担当者としての肩書きを持てた
- 人脈が広がった
- その他

(問20にて「有用な知識を得られた」にチェックを入れた方は具体的な内容を教えてください。(複数選択可))

- 法律や制度
- 企業の雇用管理等
- 障害者福祉
- 障害者の就労支援や雇用管理に関する幅広い知識

【問19で「あまり役立っていない」「役立っていない」と回答した方】

問20 ジョブコーチ養成研修が「あまり役立っていない」「役立っていない」と回答した方におうかがいします。研修が役立っていないと思う理由について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- 研修で学んだことを活用する機会がない
- 研修内容が実践的でない
- 知っていることばかりで、新たなスキル・知識の習得ができなかった
- 研修内容が難しく、あまり習得できなかった
- その他

問 2 1 ジョブコーチ養成研修の各科目で学んだことは、あなたの業務に役立っていますか。次の ~ について、それぞれ1つ選択してください。

研修受講時の科目名が、設問の科目名と異なる場合がありますので、この場合は、受講内容が最も近い科目名について回答してください。

科目名	非常に役立っている	役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	活用する機会がない・わからない
職業リハビリテーションの理念					
就労支援のプロセス					
ジョブコーチの役割					
障害特性と職業的課題					
就労支援に関する制度					
職場における雇用管理					
社会福祉の現状					
アセスメントと支援計画に関する理解					
事業所内における調整					
事業所での支援方法の基礎理解					
職務分析と作業指導					
支援記録の作成					
地域における関係機関の役割					
ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援					
ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際（事例検討）					
事業所実習					

補足(科目名とその内容)	
科目名	内容
職業リハビリテーションの理念	・職業リハビリテーションの基本理念
就労支援のプロセス	・就労支援のプロセス
ジョブコーチの役割	・ジョブコーチの制度と役割 ・ジョブコーチの支援の流れ 等
障害特性と職業的課題	・障害特性と職業的課題 ・障害特性に応じた支援方法 等
就労支援に関する制度	・障害者雇用施策の概要
職場における雇用管理	・事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ・就労支援における企業のニーズ
社会福祉の現状	・障害者自立支援法 ・社会福祉の視点 等
アセスメントと支援計画に関する理解	・アセスメントの視点と方法 ・支援計画、フォローアップ計画の意味、内容と活用方法 等
事業所内における調整	・管理者、社員への理解の促進 等
事業所での支援方法の基礎理解	・具体的な支援の流れと方法 ・職域開拓と職務の再構成 等
職務分析と作業指導	・職務分析、工程分析 ・わかりやすい伝え方 等
支援記録の作成	・支援記録の作成方法と活用方法
地域における関係機関の役割とネットワークの活用	・雇用、福祉、教育等の関係機関の役割、連携のあり方
ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	・ケアマネジメントの理念 ・職業生活を支える支援、家族への支援の考え方と方法 等
ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際(事例検討)	・ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支援の方法を学ぶ
事業所実習	・事業所実習

問2 2 より効果的な研修にするために、見直した方が良いと思う科目があれば、その科目番号()と理由をお書きください。(自由記述)
(問2 1の科目番号から選択してください。)

問2 3 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務のスキルアップのために、以下を受講又は会議に参加したことがありますか。あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- ジョブコーチ推進協議会(JEED:地域障害者職業センター)
- ジョブコーチ養成研修修了者サポート研修(JEED:地域障害者職業センター)
- ジョブコーチ支援スキル向上研修(JEED:障害者職業総合センター)
- ジョブコーチ支援スキル向上研修修了者サポート研修(JEED:地域障害者職業センター)
- 大臣指定の養成研修機関主催のジョブコーチ養成研修のフォローアップ研修
- 障害者職業生活相談員資格認定講習(JEED:都道府県支部)
- 事業主支援ワークショップ(地域障害者職業センター)
- 自法人主催の社員・職員向け研修・セミナー
- その他

問2 4 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務のスキルアップのために、最も有効と考える活動は何ですか。あてはまるもの1つを選択してください。

- 更なるレベルの研修受講
- 支援機関からの助言
- 経験豊富なジョブコーチ等との協同支援
- 実務経験を積むこと
- その他

問2 5 ジョブコーチ支援や就労支援・雇用管理業務のスキルアップのために、今後受講したい研修科目について、あてはまるもの全てを選択してください。(複数選択可)

- アセスメントの技法と支援計画の策定
- 職務の再構成と作業改善
- 事業所内調整・事業所支援
- 特定の障害種別のジョブコーチ支援の方法
- 障害特性と職業上の課題、配慮事項を整理するツール(ナビゲーションブック、就労パスポート等)
- ジョブコーチ支援に活用できる技法(ストレス対処、問題解決技法等)
- コーチングスキル
- ケーススタディ

その他
特になし

(問25にて「特定の障害種別のジョブコーチ支援の方法」にチェックを入れた方は具体的な障害種別を教えてください。(複数回答可))

視覚障害
知的障害
その他

聴覚障害
精神障害

肢体不自由
発達障害

内部障害
高次脳機能障害

制度に関する意見(自由記述)

問26 ジョブコーチ養成研修に関するご意見があればお書きください(自由記述)

(テーマの例:研修の頻度、開催場所、研修日数・時間数、研修方法(講義、演習等)、研修のレベル、カリキュラム、受講人数、受講要件、申込み手続き 等)

問27 助成金に関するご意見があればお書きください(自由記述)

(テーマの例:認定法人の要件、ジョブコーチの要件、助成額、助成対象となる活動、支援計画・支援記録、事務手続き 等)

問28 その他ジョブコーチ支援制度全体に関する意見があればお書きください(自由記述)